

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月14日

福岡市長 殿

提出者

住 所 福岡市中央区大名二丁目 4 番35号

氏 名 株式会社 イチケン 九州支店

支店長 太田 信孝

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 092-515-1811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

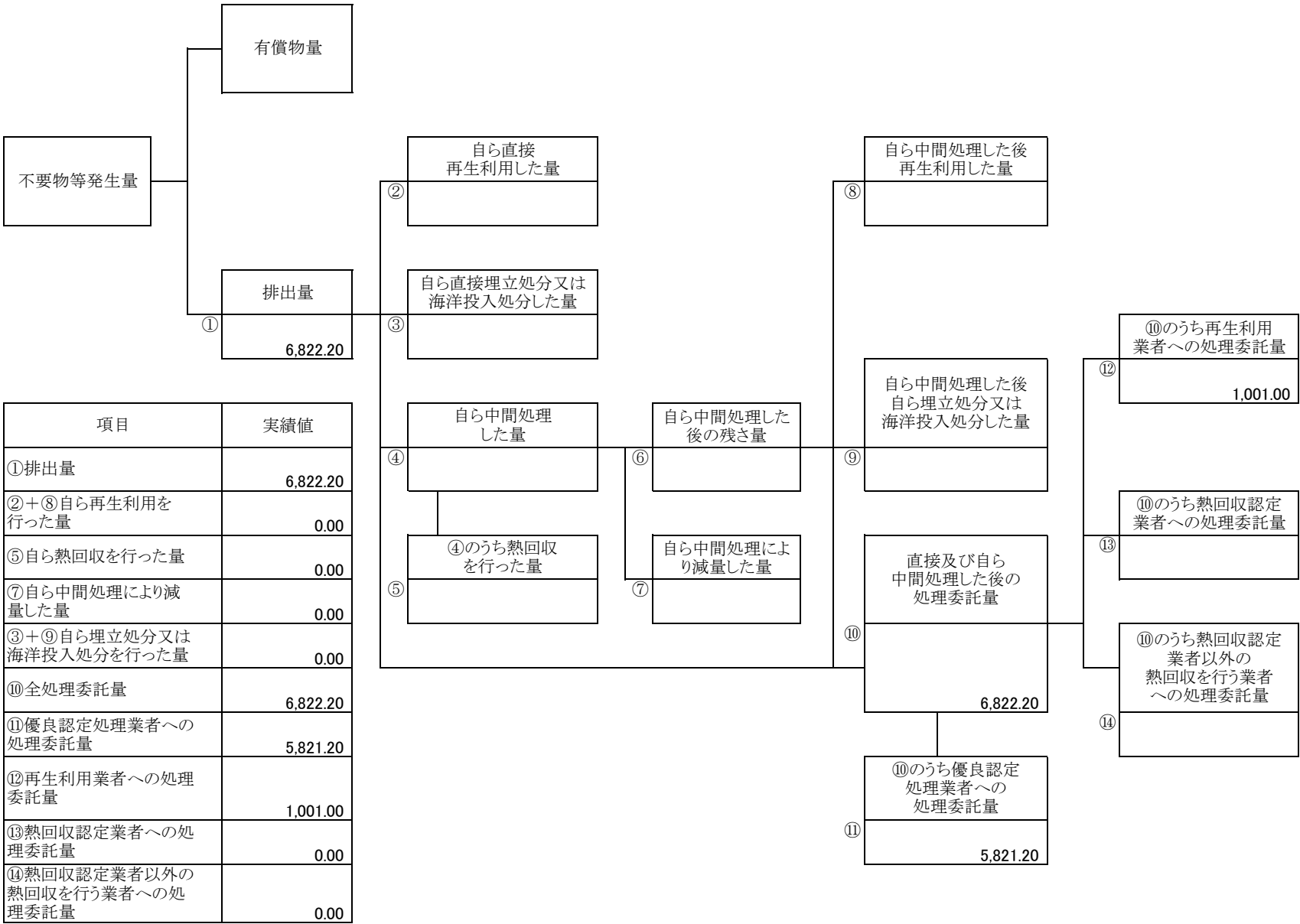
事 業 場 の 名 称	株式会社 イチケン 九州支店		
事 業 場 の 所 在 地	福岡市中央区大名二丁目 4 番35号		
事 業 の 種 類	総合建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	4,015.69 t	全 処 理 委 託 量	4,015.69 t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1,030.17 t
自 ら 熱 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	1,317.08 t
自 ら 中 間 処 理 に よ り 減 量 する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 処 分 又 は 海 洋 投 棄 処 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 熱 回 収 業 者 以 外 の 熱 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

（日本産業規格 A列4番）

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

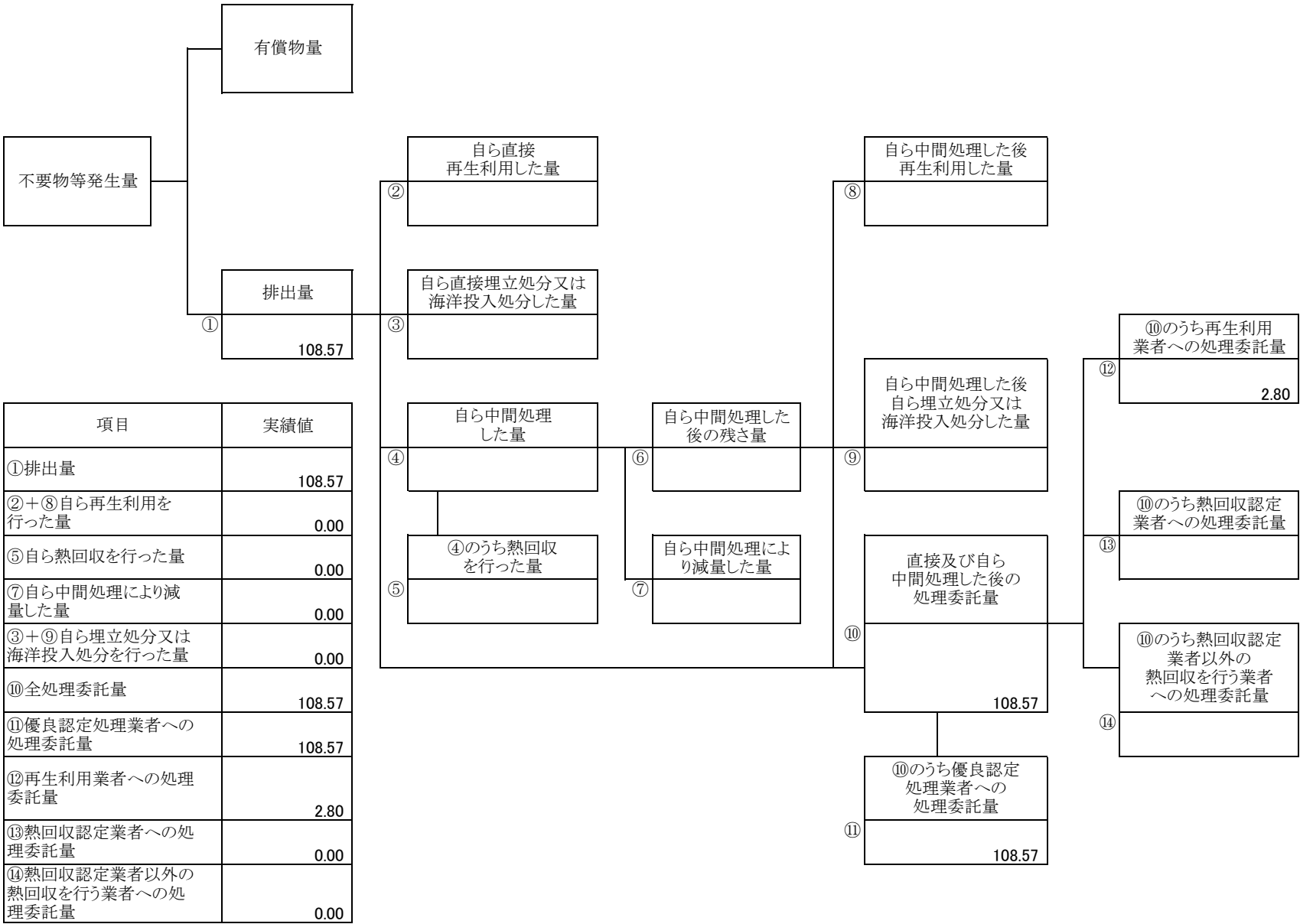
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

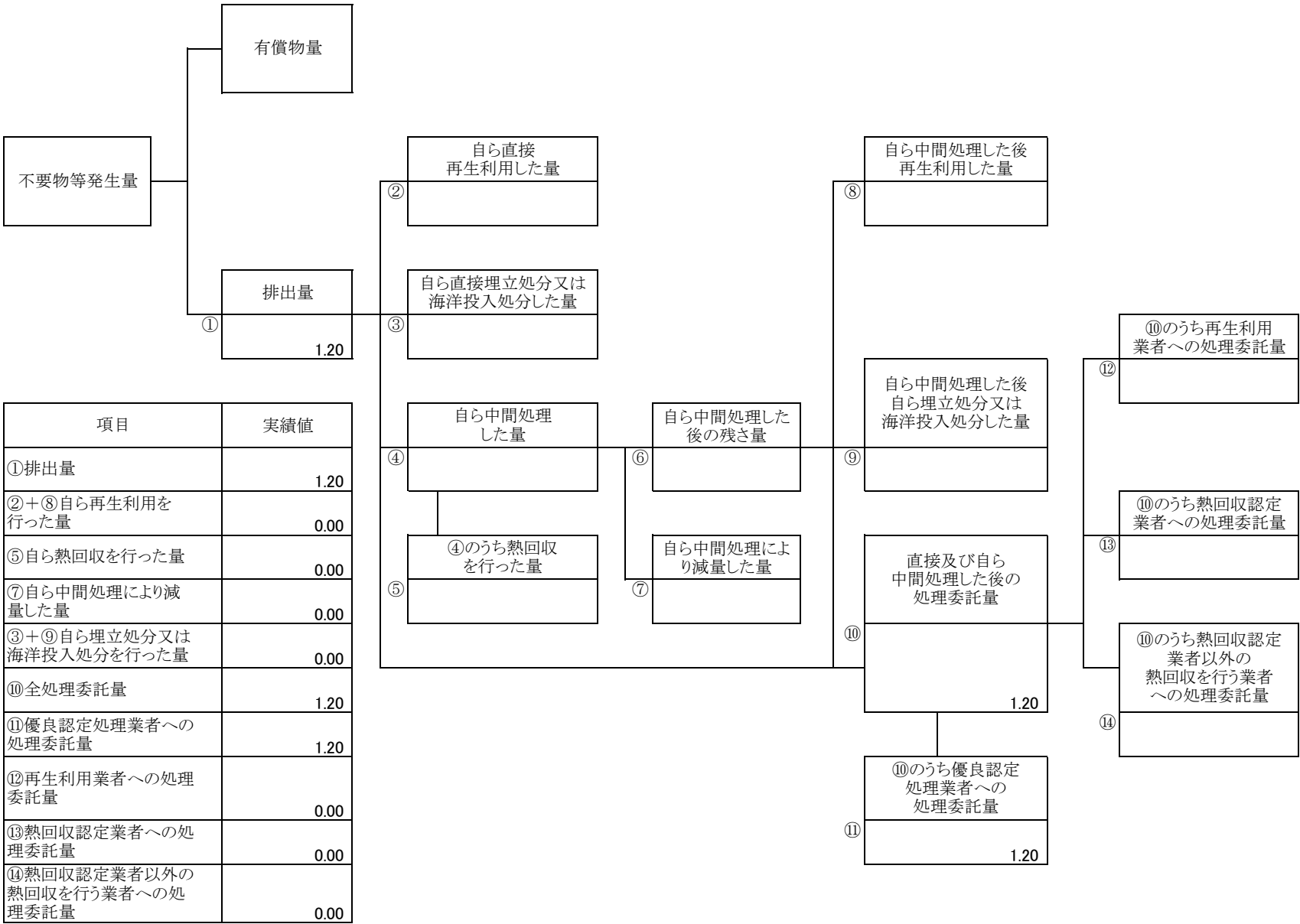
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

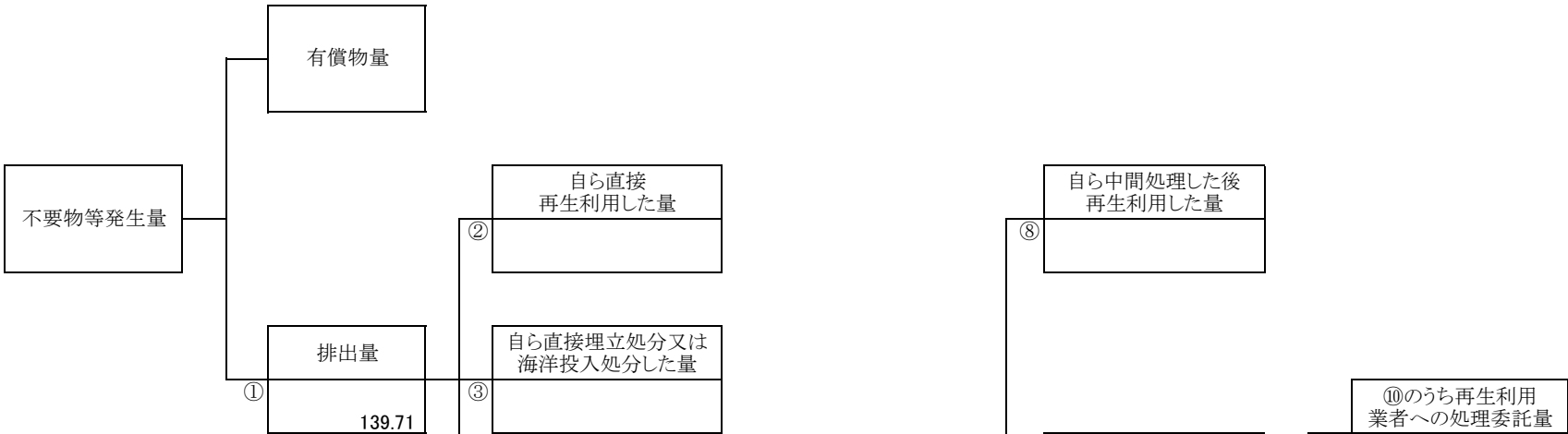
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)

(単位: トン)

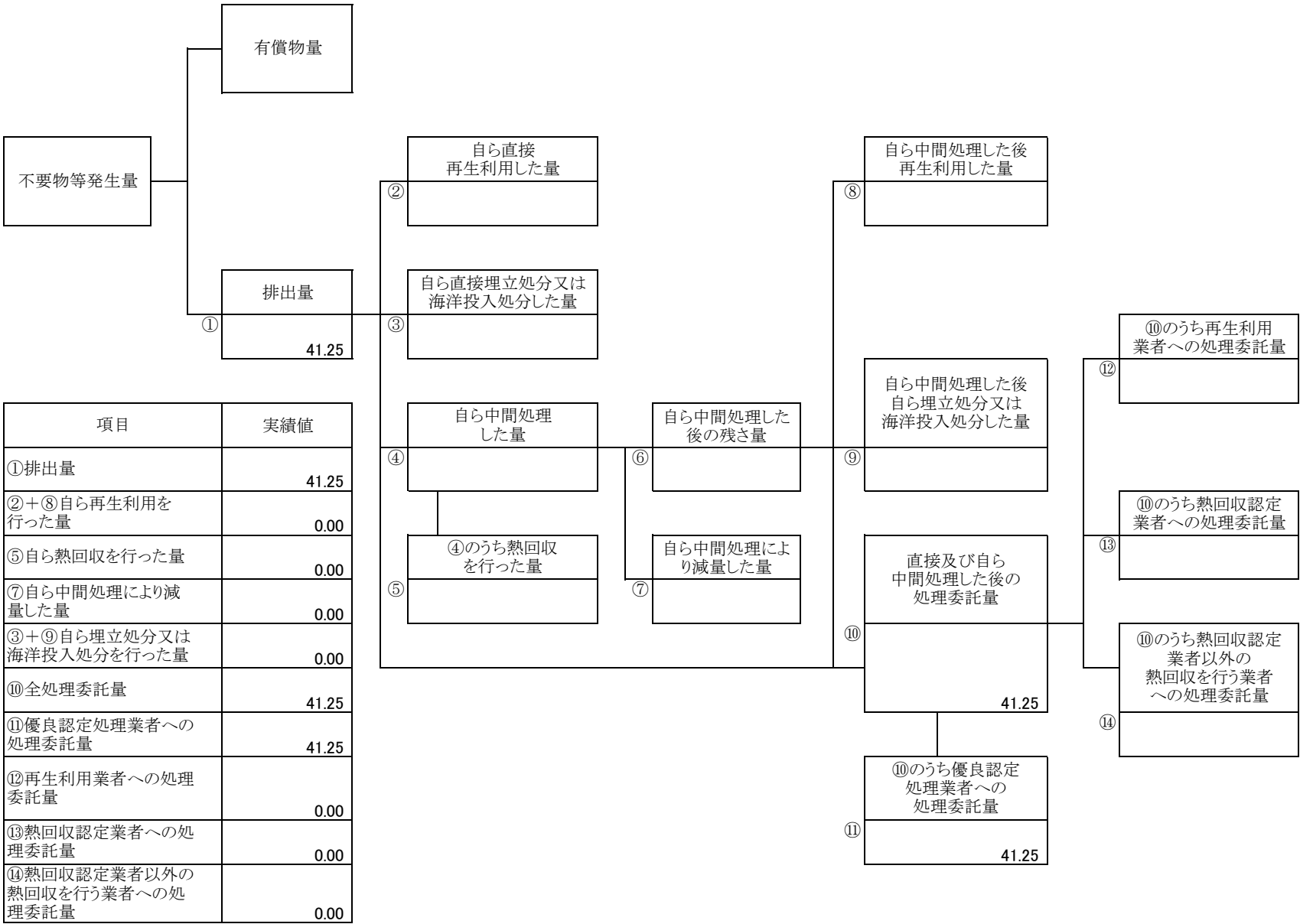


項目	実績値
①排出量	139.71
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	139.71
⑪優良認定処理業者への処理委託量	51.98
⑫再生利用業者への処理委託量	83.33
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

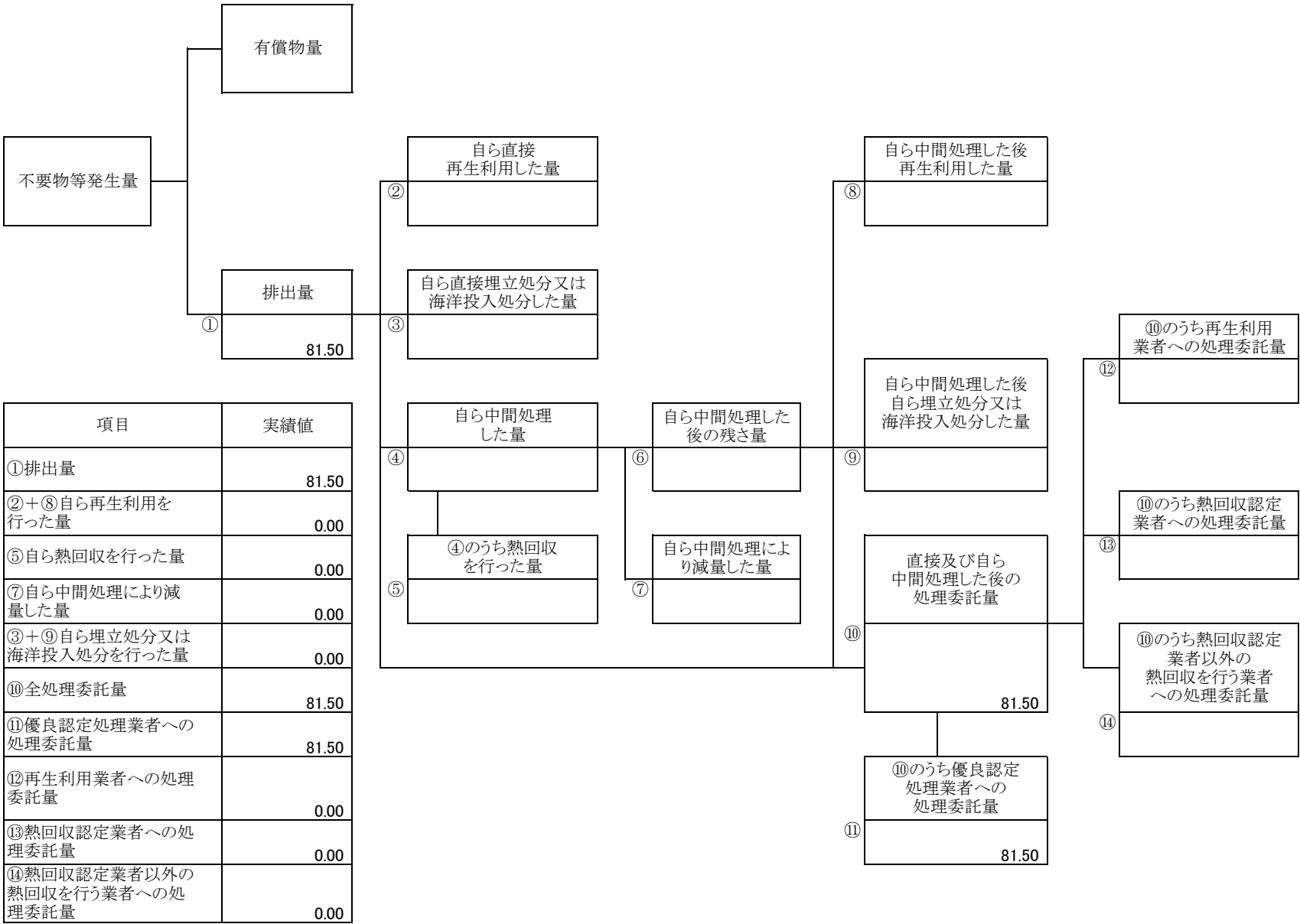
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラス陶磁器等くず)

(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

(単位: トン)

有償物量

不要物等発生量

排出量

68.34

自ら直接
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

項目	実績値
①排出量	68.34
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	68.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	68.34
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

自ら中間処理
した量

自ら中間処理した
後の残さ量

④のうち熱回収
を行った量

自ら中間処理によ
り減量した量

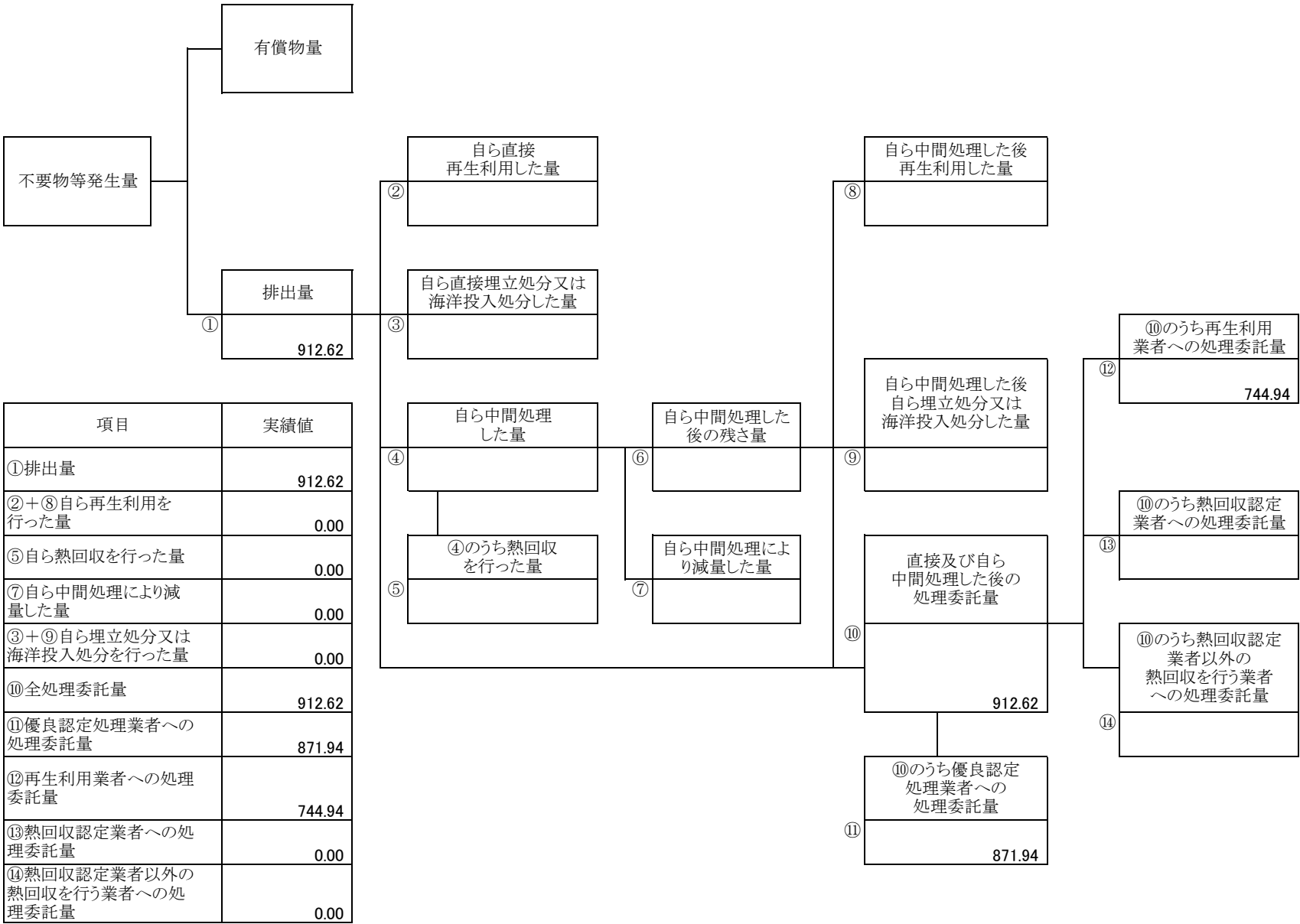
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート片)

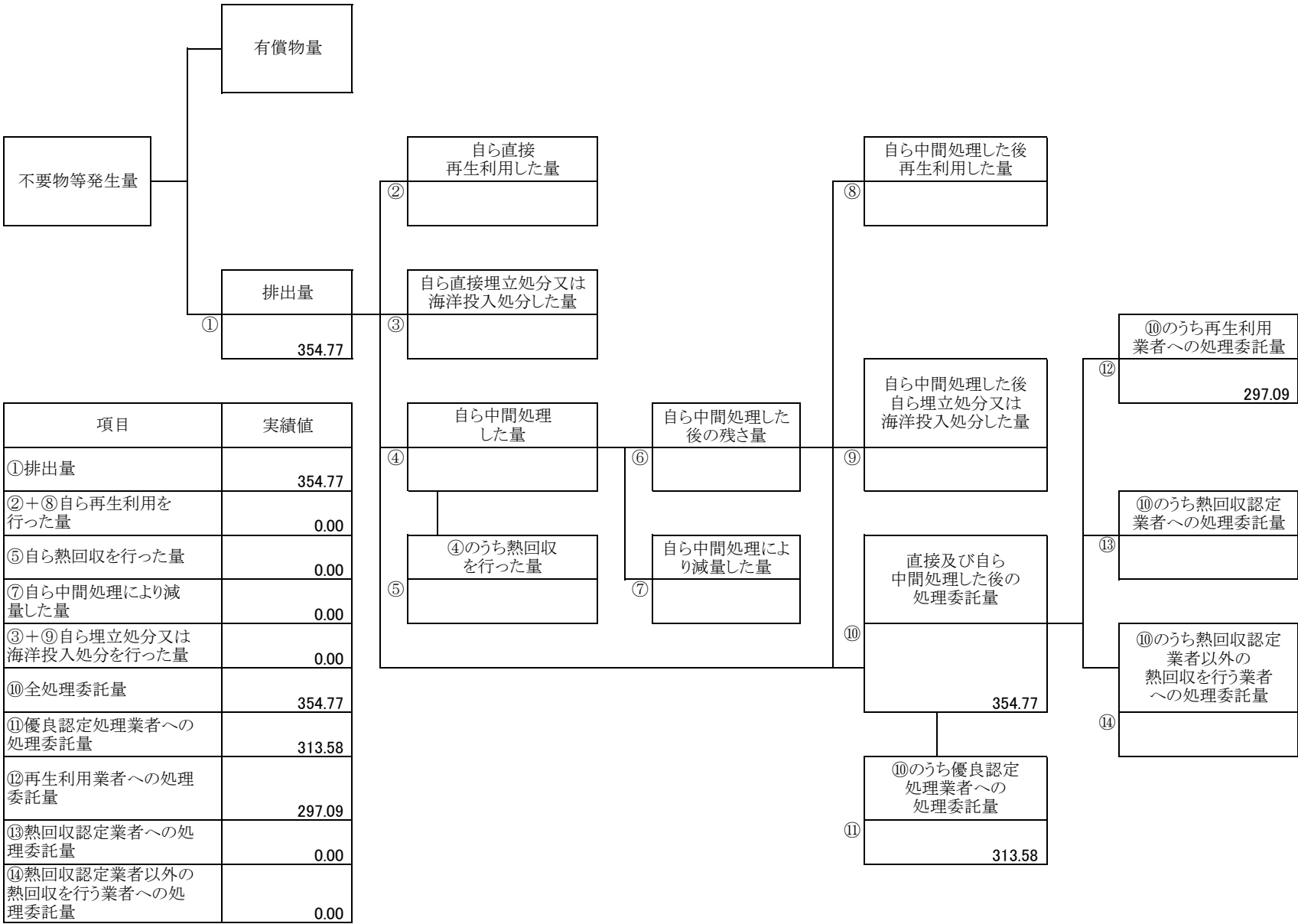
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アス・コン片)

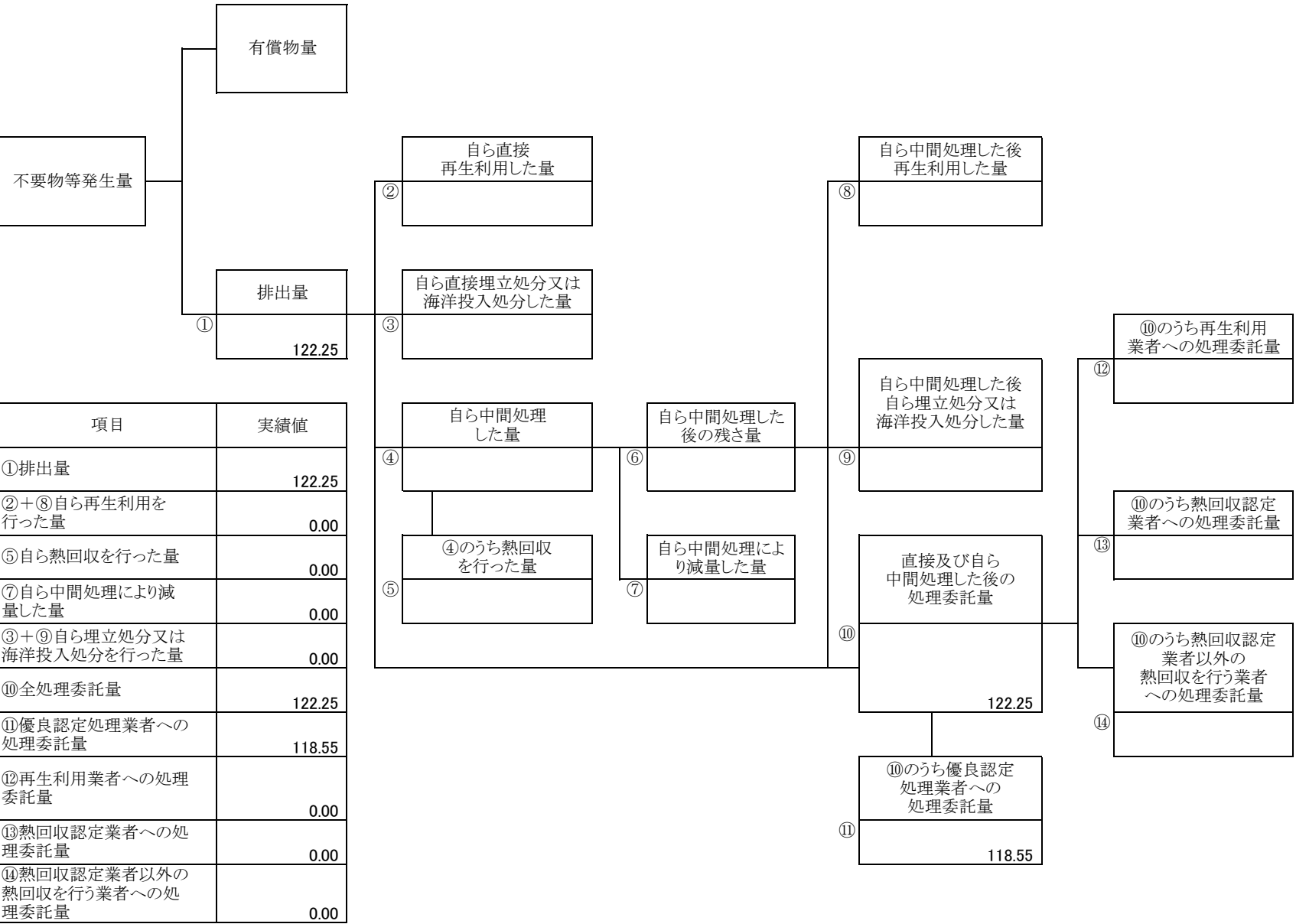
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: その他がれき類)

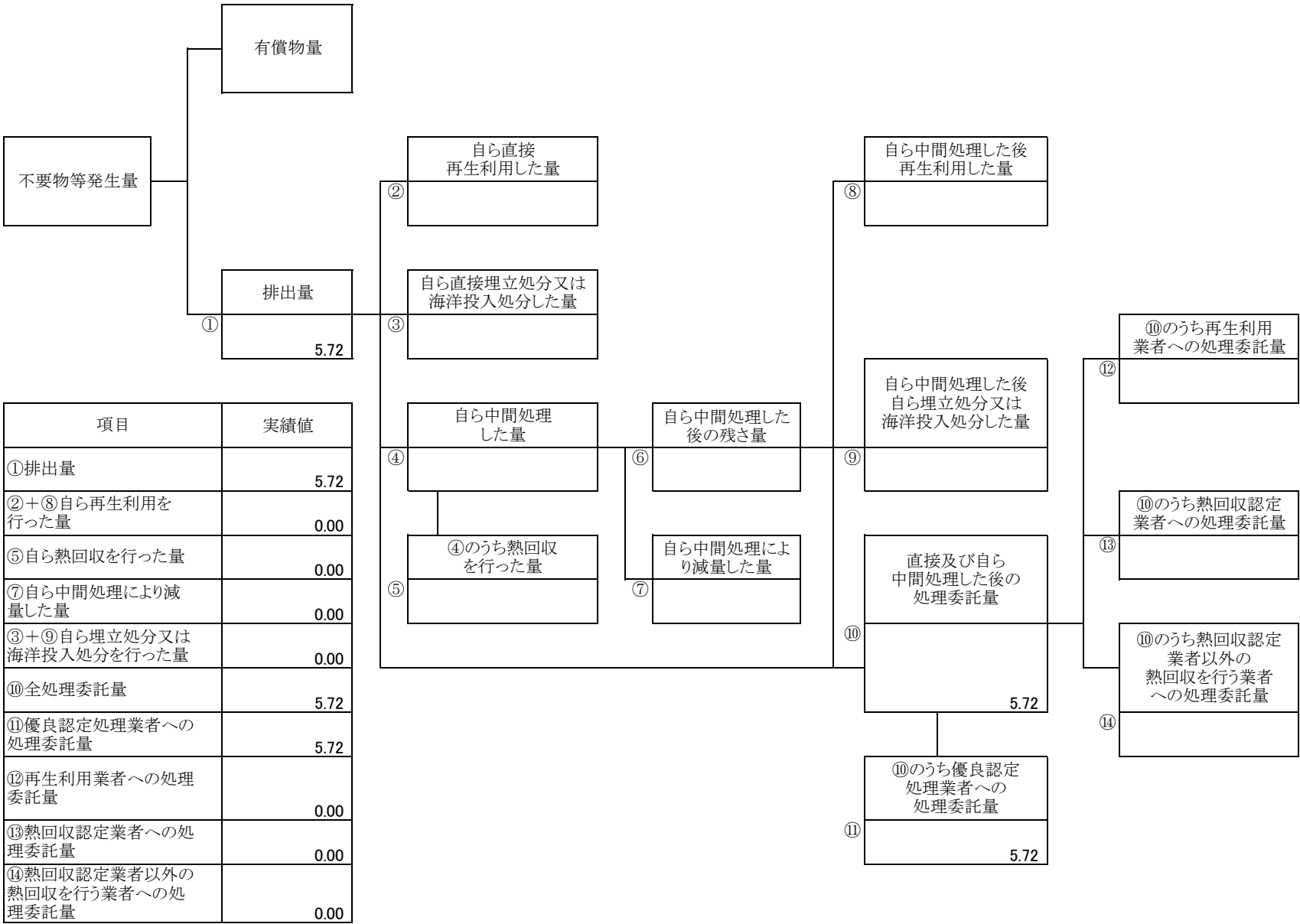
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型))

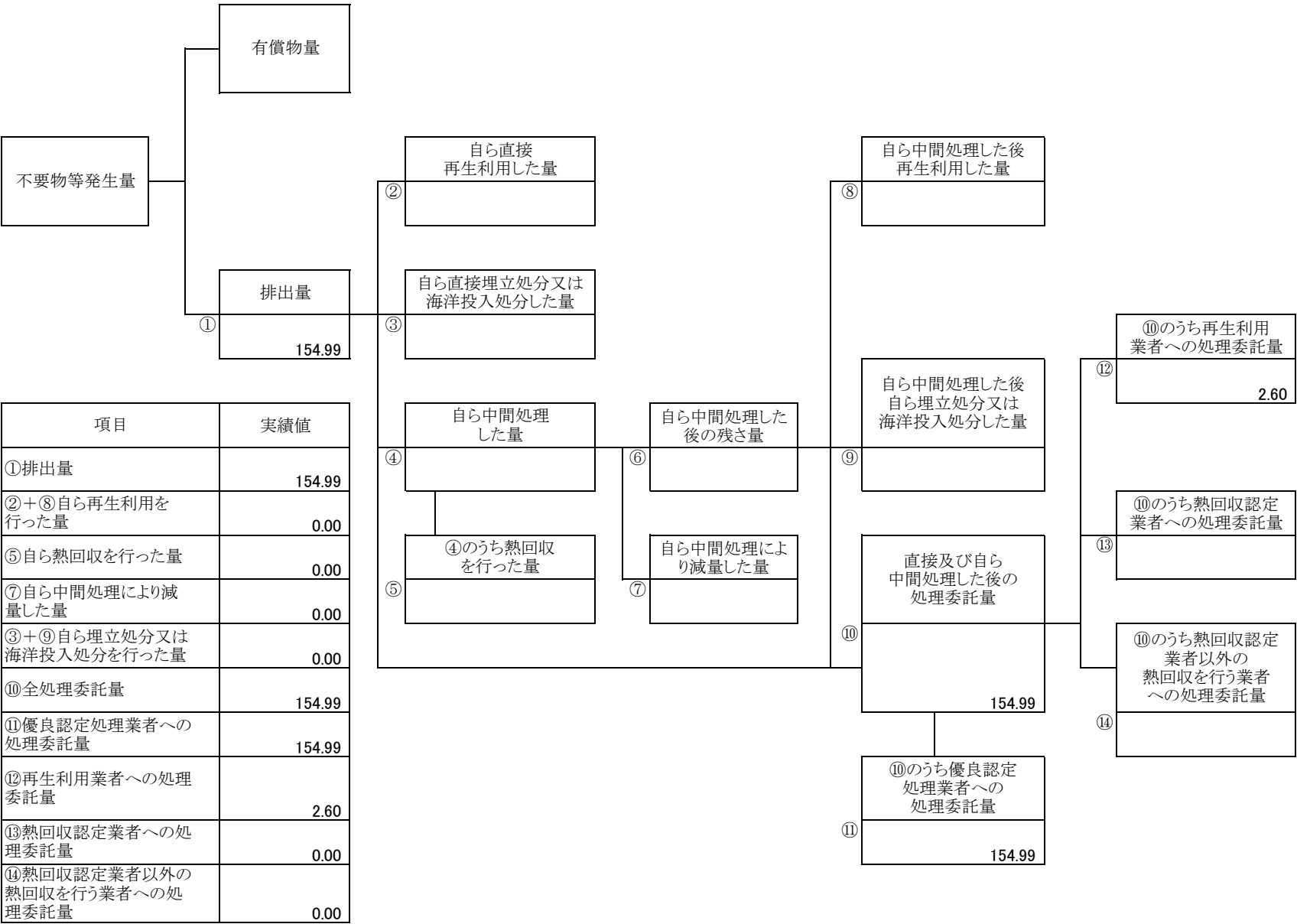
(単位: トン)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(管理型))

(単位: トン)



（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月14日	
福岡市長 殿	
提出者	
住 所 福岡市中央区大名二丁目 4 番35号	
氏 名 株式会社 イチケン 九州支店	
支店長 太田 信孝	
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 092-515-1811	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 イチケン 九州支店
事業場の所在地	福岡市中央区大名二丁目 4 番35号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	令和6年 完工高 11,322 百万円（九州支店）
③従業員数	70名 令和6年3月現在
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 木、コンクリートがら、プラスターボード、鋼材の分別 ・ 梱包材の簡素化（廃プラスチック類、木くずの抑制）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 在来型枠材を再使用するよう、協力会社に指導する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき類（コンクリートがら、アスファルトがら）木くず、プラスターボード、金属くず、紙くずの分別。 ・ 石綿含有廃棄物も混入しないよう確実に分別。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 建設混合廃棄物も出来る限り細分別を実施。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従った、処理業者を選定し、書面による契約の実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再資源化率の高い処理業者との契約の推進。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添 1 処理工程図

工事現場				売却	廃プラスチック類	原料
(分別)					紙くず	古紙再生
↓					金属くず	原料
委託処理			中間処理	がれき類・ガラスくず	再生砕石	
選別		委託処理 (中間・選別・破碎)	・破碎	木くず	原料・燃料チップ	
			・乾燥	紙くず・木くず	RPF・製紙原料	
			・固形燃料化	繊維くず		
			・焼成	ガラスくず	地盤改良材	
			脱水・造粒固化	汚泥	再生埋め戻し材	
			中間処理 (焼却[発電])	廃プラ・木くず		
				紙くず・繊維くず		
			委託処理			
			最終処分【管理型埋立】			
			委託処理			
			最終処分【安定型埋立】			

工事現場

(分別)

売却	廃プラスチック類	原料
	紙くず	古紙再生
	金属くず	原料

委託処理

選別

委託処理

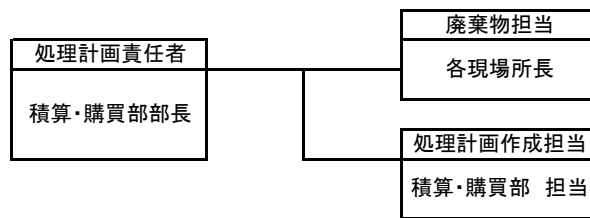
(中間・選別・破碎)

中間処理	がれき類・ガラスくず	再生砕石
・破碎	木くず	原料・燃料チップ
・乾燥	紙くず・木くず	RPF・製紙原料
・固形燃料化	繊維くず	
・焼成	ガラスくず	地盤改良材
脱水・造粒固化	汚泥	再生埋め戻し材

中間処理 (焼却[発電])	廃プラ・木くず
	紙くず・繊維くず

委託処理	
最終処分【管理型埋立】	
委託処理	
最終処分【安定型埋立】	

別添 2 管理体制図



産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状:前年度(令和5年度)実績量
計画:今年度(令和6年度)計画量(目標)

単位:トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行った(行う)量	自ら行う中間処理				自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った(行う)量	処理の委託											
	排 出 量			自ら熱回収を行った(行う)量		自ら中間処理により 減量した(する)量			全 処 理 委 託 量											
									優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		再生利用業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量					
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
汚泥	6,822.20	6,139.98	—	—	—	—	—	—	—	—	6,822.20	6,139.98	5,821.20	5,239.08	1,001.00	900.90	0.00	0.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	108.57	97.71	—	—	—	—	—	—	—	—	108.57	97.71	108.57	97.71	2.80	2.52	0.00	0.00	0.00	0.00
紙くず	1.20	1.08	—	—	—	—	—	—	—	—	1.20	1.08	1.20	1.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
木くず	139.71	125.74	—	—	—	—	—	—	—	—	139.71	125.74	51.98	46.78	83.33	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00
金属くず	41.25	37.13	—	—	—	—	—	—	—	—	41.25	37.13	41.25	37.13	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ガラス陶磁器等くず	81.50	73.35	—	—	—	—	—	—	—	—	81.50	73.35	81.50	73.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
廃石膏ボード	68.34	61.51	—	—	—	—	—	—	—	—	68.34	61.51	68.34	61.51	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
コンクリート片	912.62	821.36	—	—	—	—	—	—	—	—	912.62	821.36	871.94	784.75	744.94	670.45	0.00	0.00	0.00	0.00
アス・コン片	354.77	319.29	—	—	—	—	—	—	—	—	354.77	319.29	313.58	282.22	297.09	267.38	0.00	0.00	0.00	0.00
その他がれき類	122.25	110.03	—	—	—	—	—	—	—	—	122.25	110.03	118.55	106.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(安定型)	5.72	5.15	—	—	—	—	—	—	—	—	5.72	5.15	5.72	5.15	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
建設混合廃棄物(管理型)	154.99	139.49	—	—	—	—	—	—	—	—	154.99	139.49	154.99	139.49	2.60	2.34	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	8,813.12	7,931.82	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	8,813.12	7,931.82	7,638.82	6,874.95	2,131.76	1,918.59	0.00	0.00	0.00	0.00